

令和 5 年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画
(案)

令和 4 年 6 月 日

(名称) 函館市地域公共交通協議会

生活交通確保維持改善計画の名称
令和 5 年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>函館市内の銭亀沢地区においては、国道 278 号を運行する路線バス（地域間幹線系統）「下海岸線」が主要な交通手段となっているが、これと並行する沿線に形成される住宅地は急斜面上の高台に所在し、特に高齢者の買い物等における既存の地域間幹線バスの利用が難しい状況にあった。</p> <p>このことから、地域住民の要望に基づき、平成 30 年 11 月より、旧戸井線を経由し、「根崎競技場前」や「湯倉神社前」等のバス停において「下海岸線」、「旭岡団地線」、「川汲鹿部線」の地域間幹線系統と接続する路線バス「望洋団地線」を運行している。</p> <p>高齢者をはじめとした地域住民の利便性を確保するとともに、アクセスの確保による公共交通網の利用促進を図るため、当該系統の維持が必要である。</p>
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 望洋団地線の 1 便あたり乗車人数を 5 人以上とする。 (令和 3 年度実績 7.9 人、令和 4 年 3 月実績 9.2 人) ・ 望洋団地線の運行に係る経常収支率は新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の回復が見通せないが、沿線町会から運行時刻等に関する要望や利用実態を聞き取る場を定期的に設け、現状を把握して改善に努めるとともに、町会の協力のもと、住民への利用促進の広報やバスにおける感染症対策の徹底について周知を図ることで利用を促し、令和 3 年度実績と同等の 56.19% とする。
(2) 事業の効果
<p>「望洋団地線」の運行により、従来路線バスの利用が困難であった高齢者等の地域住民による公共交通の利用が促進される。</p> <p>また、地域間幹線系統に接続する運行ダイヤとすることで、連携する公共交通網の利用が促進され、地域の活性化が図られる。</p>
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者のニーズ調査に基づき、運行経路や運行時刻を設定することにより、路線の利便性を高め、利用者数の確保に繋げる。(バス事業者) ・ 町会等の住民団体における周知活動等を支援し、地域における公共交通利用の機運醸成を図る。(市・住民団体)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
運行経費から運賃収入、営業外収入及び国庫補助金を控除した額を函館バス株式会社が負担する。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
函館バス株式会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】
※該当なし
8. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
※該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付。

<p>13. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>※該当なし</p>
<p>14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>(1) 事業の目標</p>
<p>※該当なし</p>
<p>(2) 事業の効果</p>
<p>※該当なし</p>
<p>15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>※該当なし</p>
<p>16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <u>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>※該当なし</p>
<p>17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <u>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>※該当なし</p>
<p>18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <u>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u></p>
<p>(1) 事業の目標</p>
<p>※該当なし</p>
<p>(2) 事業の効果</p>
<p>※該当なし</p>

19. 貨客混載の導入に係る計画の概要 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
※該当なし	
20. 貨客混載の導入に要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
※該当なし	
21. 協議会の開催状況と主な議論	
令和3年1月14日	令和2年度第4回函館市生活交通協議会を開催 令和2年度事業の評価を実施
令和3年6月18日	令和3年度第1回函館市生活交通協議会を書面により開催 令和4年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案を送付
令和3年6月29日	賛成多数により同計画案を承認
令和4年4月25日	函館市生活交通協議会の後継となる函館市地域公共交通協議会を設立
令和4年6月 日	函館市地域公共交通協議会令和4年度第2回総会開催 令和5年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画承認（予定）
22. 利用者等の意見の反映状況	
令和2年1月 銭亀沢地区町会連合会とバス事業者の協議により運行時刻・経路を変更	
23. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室、 北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課
関係市区町村	函館市企画部計画推進室交通政策課、土木部管理課、港湾空港部管理課
交通事業者・交通施設管理者等	函館バス(株)、函館市企業局交通部、北海道旅客鉄道(株)、 道南いさりび鉄道(株)、(一社)函館地区ハイヤー協会、 函館地区バス協会、函館地区交通運輸産業労働組合協議会、 北海道開発局函館開発建設部道路計画課、 北海道警察函館方面本部交通課、 北海道警察函館方面函館中央警察署交通第一課、 北海道警察函館方面函館西警察署交通課
地方運輸局	北海道運輸局鉄道部計画課、北海道運輸局函館運輸支局
その他協議会が必要と認める者	北海道教育大学函館校、公立はこだて未来大学、 函館大学、函館市町会連合会、函館市社会福祉協議会、 函館市女性会議、一般公募

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 北海道函館市東雲町4番13号

(所 属) 函館市企画部計画推進室交通政策課

(氏 名) 沼田 伸之輔

(電 話) 0138-21-3625

(e-mail) bus@city.hakodate.hokkaido.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和5年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
函館市	函館バス株式会社	(1) 望洋団地線	新湊高台・ 函館共働 宿泊所	湯倉神社前	新湊高台・ 函館共働 宿泊所	往 (循環)	154 日	462.0 回		路線定期運行	②(1)	地域間幹線系統である下 海岸線・旭岡団地線・川 汲鹿部線と湯倉神社前・ 根崎競技場前ほかにて	③
						復 14km							
						往 km							
						復 km							
						往 km							
復 km													
						往 km							
						復 km							
						往 km							
						復 km							

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	函館市
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	36,491
交通不便地域	11,822

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
11,822	旧戸井町, 旧恵山町, 旧榎法華村, 旧南茅部町	過疎地域の持続的発展の支援に 関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
函館市地域公共交通網 形成計画	平成27年11月	平成31年度

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ロ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ロ②（2）（実施要領の2.（1）⑭））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
（ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可）

望洋団地線 運行系統図



- 買物のほか通院・下校需要に対応
- 毎週日曜 運行
- 毎週火曜・木曜 運行
- 地域間幹線系統運行経路 (参考)

商業施設の曜日別イベント等実施状況

プラン名	曜日	対象者
■ イオン湯川店		
火曜日	火	全員
■ アークス戸倉店		
シニアサービスデー	火	60歳以上
日曜朝市	日	全員
■ コープさっぽろ		
ちびっこコープデー	火	中学3年生までの子供を持つ家庭等
パンお買得デー	火	全員
ゴーゴーコープデー	木	55歳以上

下海岸線①
下海岸線②
下海岸線③

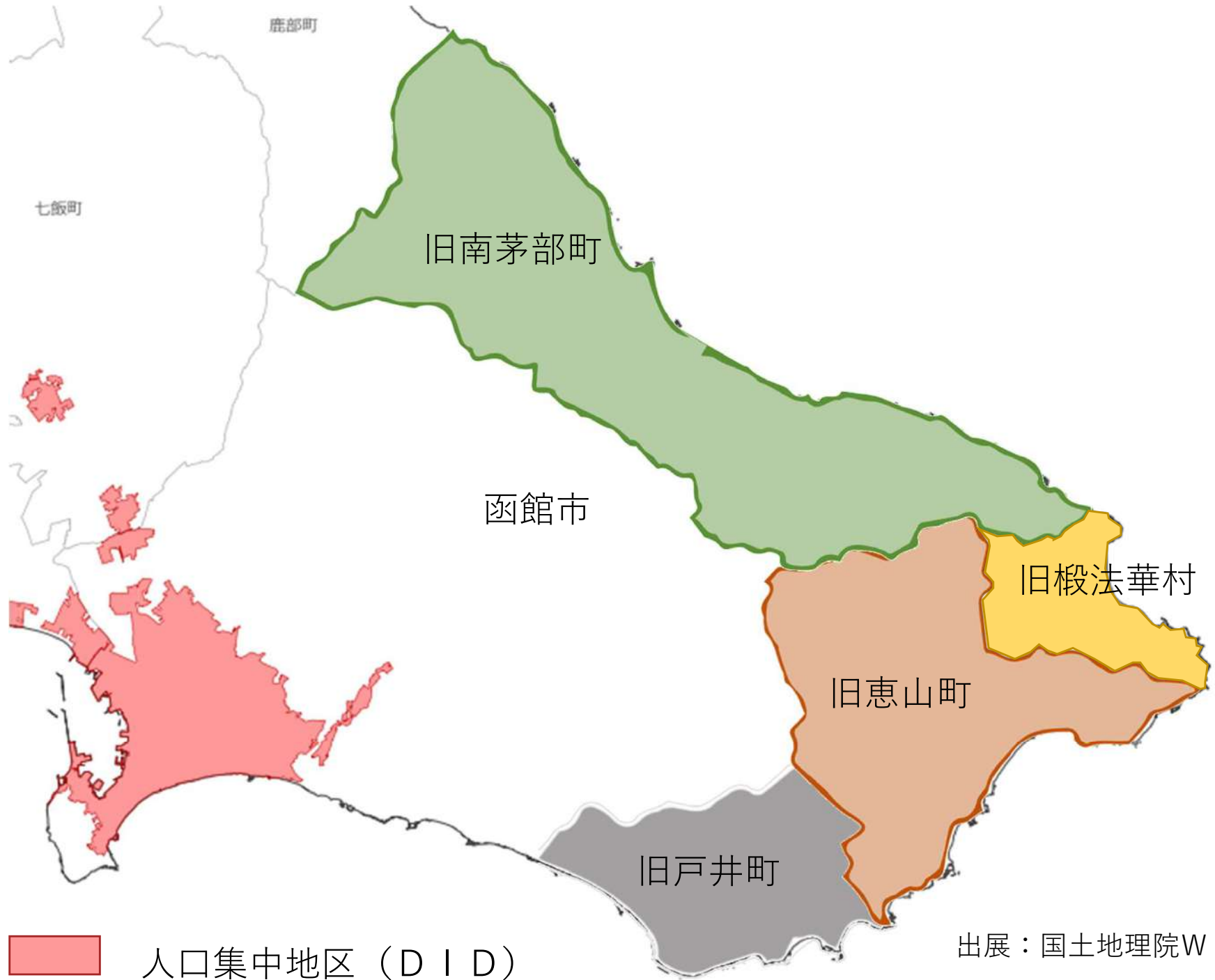
毎週火曜、木曜運行

青ライン コース	新湊高台・函館共働宿泊所	新湊団地	シンフォニー	望洋団地B	望洋団地自治会館	望洋団地A	志海苔赤坂団地	志海苔ふれあいパークゴルフ場	大林道路	根崎団地	高松展望広場	函館出雲大社	弥衛門川	高松町	根崎	根崎競技場前	湯倉神社前⑤	湯倉神社前②	湯川温泉電停前	市民会館・函館アリーナ前	湯の川生協前	湯川支所前	湯川中学校前	湯倉神社前④	湯川小学校前	フレスポ戸倉前	根崎競技場前	根崎	高松町	弥衛門川	函館出雲大社	高松展望広場	根崎団地	大林道路	志海苔ふれあいパークゴルフ場	志海苔赤坂団地	望洋団地A	望洋団地自治会館	望洋団地B	シンフォニー	新湊団地	新湊高台・函館共働宿泊所
94	9:30	9:31	9:31	9:32	9:33	9:34	9:35	9:36	9:37	9:37	9:38	9:39	9:40	9:41	9:43	9:45	9:47	9:48	9:49	9:51	9:52	9:53	9:54	9:56	9:57	9:59	10:01	10:02	10:03	10:05	10:06	10:07	10:08	10:08	10:09	10:10	10:11	10:12	10:13	10:14	10:14	10:15
94	11:30	11:31	11:31	11:32	11:33	11:34	11:35	11:36	11:37	11:37	11:38	11:39	11:40	11:41	11:43	11:45	11:47	11:48	11:49	11:51	11:52	11:53	11:54	11:56	11:57	11:59	12:01	12:02	12:03	12:05	12:06	12:07	12:08	12:08	12:09	12:10	12:11	12:12	12:13	12:14	12:14	12:15
94	15:40	15:41	15:41	15:42	15:43	15:44	15:45	15:46	15:47	15:47	15:48	15:49	15:50	15:51	15:53	15:55	15:57	15:58	15:59	16:01	16:02	16:03	16:04	16:06	16:07	16:09	16:11	16:12	16:13	16:15	16:16	16:17	16:18	16:18	16:19	16:20	16:21	16:22	16:23	16:24	16:24	16:25

毎週日曜運行

黒ライン コース	新湊高台・函館共働宿泊所	新湊団地	シンフォニー	望洋団地B	望洋団地自治会館	望洋団地A	志海苔赤坂団地	志海苔ふれあいパークゴルフ場	大林道路	根崎団地	高松展望広場	函館出雲大社	弥衛門川	高松町	根崎	根崎競技場前	湯川3丁目	湯川小学校前	フレスポ戸倉前	根崎競技場前	根崎	高松町	弥衛門川	函館出雲大社	高松展望広場	根崎団地	大林道路	志海苔ふれあいパークゴルフ場	志海苔赤坂団地	望洋団地A	望洋団地自治会館	望洋団地B	シンフォニー	新湊団地	新湊高台・函館共働宿泊所
94A	8:30	8:31	8:31	8:32	8:33	8:34	8:35	8:36	8:37	8:37	8:38	8:39	8:40	8:41	8:43	8:44	8:45	8:47	8:49	8:51	8:52	8:53	8:55	8:56	8:57	8:58	8:58	8:59	9:00	9:01	9:02	9:03	9:04	9:04	9:05
94A	10:30	10:31	10:31	10:32	10:33	10:34	10:35	10:36	10:37	10:37	10:38	10:39	10:40	10:41	10:43	10:44	10:45	10:47	10:49	10:51	10:52	10:53	10:55	10:56	10:57	10:58	10:58	10:59	11:00	11:01	11:02	11:03	11:04	11:04	11:05
94A	13:30	13:31	13:31	13:32	13:33	13:34	13:35	13:36	13:37	13:37	13:38	13:39	13:40	13:41	13:43	13:44	13:45	13:47	13:49	13:51	13:52	13:53	13:55	13:56	13:57	13:58	13:58	13:59	14:00	14:01	14:02	14:03	14:04	14:04	14:05

【函館市 人口集中地区および交通不便地域区域図】



出展：国土地理院Web